

緑のボランティア通信

2021.7.1

No.71

特集! 花と緑のまちづくり講座

緑化推進リーダー育成講座「花と緑のまちづくり講座」は、これから緑のボランティア活動を始めようと考えている方や、すでに活動をしている方が花と緑の花壇作りを実践しながら基礎知識を学んでいく講座です。修了生が“学んだ経験・知識を仲間や地域に広め、市内各地で活躍してほしい”という目的で開催しています。今号では前回の様子を通じて「花と緑のまちづくり講座」を紹介します。

令和2年度は、コロナ禍の中11名の方が修了生となりました。本講座は全6回あり、座学から実習まであります。回を重ねる度に参加者同士の交流も生まれ、全員で作上げた実習花壇は行き交う市民のいこいの場所となっていました。



講師を招いて、花と緑や土の基礎知識について講義



どんな花壇にするのか？
実習花壇の周辺環境状況の観察



合意形成したデザインをもとに花壇の植え付けの実習

写真で紹介した内容のほかにも、川崎市の緑についての講義や、土づくり等様々な知識や経験が得られる講座となっております。

花壇のイメージとテーマを検討して発表



令和3年度「花と緑のまちづくり講座」はこれからご応募できます

- 日程：① 9月10日(金) ② 10月8日(金) ③ 10月29日(金) ④ 11月12日(金)
⑤ 12月21日(火) ⑥ 1月25日(火) ※各回10時～16時
- 会場：①②⑤ 中原区役所 ③④ 会館とどろき
- 対象：市内在住、在勤、在学の方(原則全6回参加できる方) 定員30名
- 申込：区役所、市民館に配布される申込書に必要事項を記載して、当協会へ郵送・FAX・メール(k.katada@kawasaki-green.or.jp) ※申込書は協会HPでもダウンロード可能

応募締切
8月17日

目次

特集! 花と緑のまちづくり講座	1
第17回わかまち花と緑のコンクール 入賞作品決定 / 協会ニュース 知っていますか? 緑のタウンページ	2
活動団体訪問・自己紹介コーナー	3
flowerbed	4



かわさき緑のイメージキャラクター
緑の妖精 グリンピー

第17回わがまち花と緑のコンクール 入賞作品決定

市内の花と緑による美しい景観を発掘し、それを創り出している方々の紹介を目的に実施している「第17回わがまち花と緑のコンクール」は、近年で最も多い130件の応募を頂きました。そして市民運営委員による現地調査と、学識経験者等の選考委員会を経て、大賞ほか各賞が決定しましたので、一部ではありますがご報告します。

しかし、残念ながら6月26日(土)に開催を予定しておりました表彰式につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため取り止めとなりました。

なお、全応募作品が掲載されている「コンクール報告・花と緑のマップ」を各区役所等に配布しますので、是非お手に取ってご覧ください。



団体部門
大賞

五反田自治会 (多摩区)



個人部門
大賞

比嘉 孝さん (川崎区)

団体の部

(敬称略)

賞名	団体名	区
優雅な彩りデザイン賞	吹込クローバーの会	麻生
花いっぱい元気感謝賞	エコガーデンはるひ野	麻生
カラフル・ハートフル賞	飯室谷町会	多摩
ヴィクトリー賞	川崎市立日吉中学校	幸
新人賞	川崎市立川崎高校と地元ボランティア	川崎

個人の部

(敬称略)

賞名	個人氏名	区
緑のボリュームアップ賞	金井 則夫	多摩
里山風景づくり賞	杉浦 百合子	麻生
彩りデザイン賞	内藤 猛次	中原
新人賞	森田 和子	中原



上記の賞以外にも連続努力賞12作品が入賞されました。

なお、「コンクール報告・花と緑のマップ」には全応募作品の写真が掲載されていますので、是非ご覧ください。



協会ニュース 知っていますか? 「緑のタウンページ」

当協会では、「ボランティアを知りたい・始めたい方」と「活動を広報したい、会員を募集したい団体」とのマッチングのために、「緑のタウンページ」を発行しています。

緑の活動団体に登録している団体の中で、掲載を希望された84団体の活動内容や活動日が各区ごとに掲載されているので、これから活動を始めたい、という方にピッタリの冊子となっています。

緑のタウンページが見たい! という方や、掲載したい! という団体は、
当協会までお問合せ下さい。



最新情報の確認について

本紙に掲載されている内容は変更・延期・中止となる場合があります。

ルックハイツ日吉グリーンクラブ(2017年設立)

活動場所 ルックハイツ日吉マンション敷地内2ヶ所 及び 久末つつじ公園 (高津区久末1566-1)
交通案内 JR南武線「武蔵新城駅」より東急バス綱島駅行き「蟹ヶ谷バス停」下車徒歩6分



グリーンクラブはマンション住民、男女10名で構成され活動して4年目になりました。

きっかけはある1人の住民の方が荒れ果てた花壇の一角をガーデニングで素敵に変身させたのを見て感動し、綺麗にしたいと思って会を立ち上げました。その時私は自治会の役員をつとめており道路公園センターの会議に出席した時に緑の活動団体の事を知って登録させて頂きました。



次の年には生ゴミコンポストの助成金も3年間受けることが出来ました。そのおかげで今年、花壇の囲い造りは私が思い描いていた以上に完成しました。

会員の方々はパワフルです。80歳をこえて2日に1回公園の水やりを欠かさずしてくれる方。手足が不自由ながら活動写真を撮影をして毎月会報を作成してくれる方。花壇の囲い造りなどで毎回作業内容を考え、教えてくれる方。会計をしてくれる方。毎日の様に花壇の手入れをしてくれる方々。そのおかげでいつでも花が咲いている素敵な花壇になりました。

作業をしていると住民の方々や近隣の方々から「いつも綺麗にしてくれてありがとう」「お花が綺麗ですね」とよく声をかけられる様になったり、だんだんお花を育てることも上手になり花壇の作業が楽しくなってきました。種から育てたり挿し木で増やしたり宿根草の手入れを試行錯誤しながら挑戦中です。
(堀越 英美子)



高石みどりの会(2016年設立)

活動場所 高石ふれあいの森 (高石特別緑地保全地区) 麻生区高石5丁目212-4ほか
交通案内 小田急線「百合ヶ丘駅」徒歩15分



高石みどりの会は、麻生区里山ボランティア事業に参加したメンバーが集まり2016年4月に設立しました。現在は20代から70代の16名で活動しています。

高石特別緑地は、3000平米の傾斜地にある閉鎖緑地です。2009年に「21世紀の高石の森」として、川崎市が竹林を伐開し、落葉広葉樹の幼苗を1000本植樹しましたが、2014年の時点では手入れが行き届かずズクズクの生い茂るヤブと化していて、入口から奥に入るのも難しいほどでした。

会の設立後、毎月1回の活動日に根気よく手入れをして、ヤブだった森から明るく心地よい森へと変えていきました。作業の中で、ジュウニヒトエ、オカタツナミソウなどの貴重な植物もたくさんあることがわかり、保護しながら下草刈り、間伐を続けています。間伐で出た丸太を使って、周回路や階段作りもしています。ウグイス



やシジュウカラなどたくさんの野鳥が来るので、巣箱もかけました。

緑地を知ってもらうために、3年間それぞれ4回ずつ、自然観察や工作などのイベントをして、仲間を増やしています。活動日は毎月第3日曜日の午前中です。気軽に見学にいらしてください。
(飛永 かの子)

いつも見慣れている公園の花壇、そんな花壇の花を紹介します。

ポイント

日差しが強い時には

- 植物にとって太陽光が必ずしも良いものである、とは一概に言えません。
- 特に夏の西日は強すぎるため、種類によっては植物が傷んでしまうこともあるので注意が必要です。
- 花壇の場合は、西日が直接当たらないよう背の高い植物を植えておく工夫や、寒冷紗やトレリスなど設置する等、日除け対策をしましょう。
- (もちろん、日差しに強い植物を植えることもよい対策です)
- ベランダなどの場合はヨシズなどが良いでしょう。
- 人も一日中、暑いところにいるのは辛いですね。



No.25 ガーベラ* 多年草

*開花期 4月～6月・10月～11月

*花言葉 思いやり・感謝



キク科の多年草とされていますが、今までのガーベラには育てるのが少し難しいイメージがありました。しかし、最近ではガーデンガーベラやランドスケープガーベラなど

毎年咲きやすく、丈夫な品種がたくさん出てきました。

日当たりを好み、風通しの良い所を好みます。色は赤・白・オレンジ・ピンク・黄などです。品種を選べば、長く毎年楽しめると思います。



No.26 ペンタス* 一年草

*開花期 5月～10月

*花言葉 願い事・望みが叶う



ペンタスは一年草ですが、とても花期の長い植物です。

花の色も、従来の白・ピンク・赤・紫以外に星咲きのような綺麗な品種も出てきました。

日当たりと風通しの良い所を好みます。

成長も良く、背も高くなるので花壇や寄せ植えの場合は後方に植えると良いでしょう。

(株) 泉樹園^{せんじゅえん}、手塚賀久



公共の花壇を対象に誰もが知っているポピュラーな花を再認識していただくコーナーです。このコーナーのご意見、ご要望をお寄せください。ぜひ参考にさせていただきます。